

福山市放課後子ども教室の取組

開催教室：大津野学区放課後子ども教室
日時：平成24年2月22日（水） 15:00～16:00
場所：大津野小学校
チーム名：OBA58・ショコラ 6名（福山市立女子短期大学・福山市立大学）
参加児童数：26名
内容：工作、表現活動

大津野学区放課後子ども教室では、OBA58・表現ボランティア「ショコラ」の合同チームを招いて、人を指に見立てた「人間ジャンケン」や、ペットボトルの底を再利用した「カッチンくん」を使って踊る「二上りリズム」や「フクヤマニクス」が行われました。

○ 活動の様子

	<p>大学生は色とりどりのコスチュームで「ジャンケンジャー」に扮し、人を指に見立てて5人1組になって行う「人間ジャンケン」について説明しました。</p> <p>そのあと、子どもたちも5人グループに分かれ、グループ対抗で「人間ジャンケン」を行いました。</p>
	<p>ペットボトルの底と輪ゴム、ビニールテープを使って「カッチンくん」を全員で作りました。</p> <p>そのあと、音楽に合わせ、大学生の指導のもと、「カッチンくん」を使って踊る「二上りリズム」や福山紹介ダンス「フクヤマニクス」を全員で踊りました。</p>

○ 学生の皆さんからの声（インタビュー、アンケートより）

子どもの反応が予測できていなかったところもあり、予定していた時間配分でできませんでした。子どもの反応を何パターンも予測しておかなければならないことがわかりました。

いろいろな子どもと関わることのできる良い機会で、良い経験になりました。活動の中でたくさんの事を学べたので、今後にかかしていこうと思います。

○ 市町スタッフの皆さんからの声（インタビュー、アンケートより）

大学生が礼儀正しく、とても好感が持てて良かったです。

活動に入りにくい子どももいましたが、途中からは笑顔が見られ、グループの傍にいて参加していました。

いろいろな人との関わりの中で子どもたちを育てていきたいので、今後も大学生に来てもらいたいと思います。